

事業のご報告

2011年3月期 (2010年4月1日~2011年3月31日)



はじめての人でもすぐわかる

リコーリースを徹底解剖

トップメッセージ

持続的な成長に向けて
新・中期経営計画を
策定しました

最前線レポート

若手社員がリコーリースの「今」をレポート

リース・割賦事業編 カーボンオフセットリース
金融サービス事業編 リコー集金代行サービス



事業レビュー



リコーリース CSRの取り組み



FOCUS

お客様を支えるスタッフたち



連結財務諸表



リコーリースIRひろば

リコーリース株式会社

(証券コード 8566)

はじめての人でもすぐわかる
リースを

徹底解剖



リースの事業領域は？

「リース・割賦事業」と「金融サービス事業」の2つの事業を軸に、総合的なフィナンシャルサービスをご提供しています。

リース・割賦事業

お客様の設備導入を支援する幅広いサービスを提供

- ファイナンス・リース
- オペレーティング・リース
- 割賦



リース関連の取扱い約5割！
その他、重点分野を定めて、分野毎の営業戦略を展開しています。

金融サービス事業

お客様の経営や業務効率化を支援する金融サービスを提供

- 集金代行サービス
- 請求書発行代行サービス
- カード事業
- ビジネスローン 自融枠
- 職域ローン
- ドクターサポートローン



お客様の利便性を高めるサービスで、収益基盤を強化しています。

その他

車両及び輸送用機器

営業車、電気自動車、
医療用検診車、
フォークリフトなど



商業用及びサービス業用機器

レジ、ガスメーター、
タイムレコーダー、
計量器、包装機、
ラベルプリンター
など



産業工作機械

印刷機械、部品製造機械など



取扱高の分野別内訳

リース関連

複写機／複合機、
プリンター、
ファクシミリ、
ソフトウェア製品、
デジタル印刷機
など



事務用機器・情報関連機器

パソコン、ホストコンピューター、
サーバー、会計システム、通信機器、
ルーター、ソフトウェアなど



医療機器

心電計、血圧計、
AED、内視鏡、
レセプト
コンピューター、
X線撮影装置、
MRIなど



サービスの詳細はこちらをご覧ください。

リース コンサルティングサービス

検索

www.r-lease.co.jp/service/

Q リコーリースの特長・強みは？

中小企業を中心に、少額・大量契約を進めることで、リスクの分散化を実現し、優良な営業資産を形成していることが大きな特長です。

1 中小企業中心のお客様基盤※

- お客様の**98%**が中小企業
- 平均契約単価：**180万円**(業界平均250万円)

※中小企業の定義:製造業の場合、資本金の額または出資の総額が3億円以下の会社ならびに常時使用する従業員の数が300人以下の会社および個人を指します。(中小企業庁)

2 貸倒れリスクが分散された優良な営業資産

取引先社数：**40万社**

3 好条件での資金調達を可能にする高い格付

- S&P(Standard & Poor's) **A+**
- R&I(格付投資情報センター) **A+**
- JCR(日本格付研究所) **AA-**

資金調達の金利を抑え、
高効率・高品質な業務体制で
「収益性」を高めています。



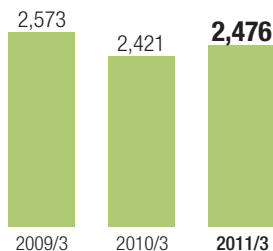
4 大量の契約を 高効率・高品質で処理する体制

- 年間契約件数：**40万件**
- ITの活用と継続的な改善活動で効率化

数字で見るリコーリース(2011年3月期) 注)億円未満は切り捨て表示しています。

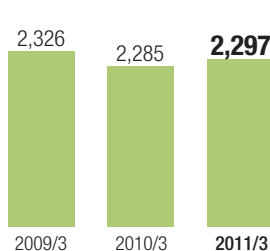
取扱高※

2,476 億円
前期比 **2.3%** 増 



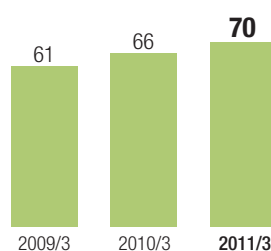
売上高

2,297 億円
前期比 **0.5%** 増 



当期純利益

70 億円
前期比 **5.5%** 増 



※取扱高:リース、割賦および融資を契約実行した金額の総額

[→詳しくはこちら](#) P14~16の連結財務諸表のページをご覧ください。

持続的な成長に向けて 新・中期経営計画を策定しました

当期の業績について

**厳しい事業環境のなか、営業活動を強化した結果
取扱高が増加に転じ、増収増益を達成しました。**

当期の日本経済は、緩やかな回復が見られたものの、円高や資源価格の高騰に加え、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、先行き不透明な状況となっています。

こうしたなか、当社グループは有力ベンダー※1との取引拡大を進めるとともに、優良ユーザーへの接点営業を強化した結果、当期の取扱高は2,476億円(前期比2.3%増)となりました。リーマンショック以降、業界全体の取扱高が減少を続けるなかで、増加に転じることができたのは、大きな意義があると考えています。

割賦売上高の増加、集金代行を中心とした受取手数料の増加などにより、売上高は2,297億円(前期比0.5%増)となりました。東日本大震災の発生に伴い、被災地域の企業やリース物件に被害が予想されることから、貸倒引当金を30億円繰り入れました。その一方で、資金調達費用の減少、再リースの増加などプラス要因もあり、営業利益は122億円(前期比6.4%増)、当期純利益は70億円(前期比5.5%増)となり、増収増益を達成しました。当期の配当は、前期比1円増配し39円とさせていただきます。

東日本大震災で被災された皆様へ

3月11日に発生しました東日本大震災により被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。皆様の安全とともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当社グループは、事業を通じて被災地経済の復旧・復興および被災企業の再生に貢献してまいります。そのため、義援金や事務用機器・情報関連機器の寄付を実施いたしました。また、復興支援リース・ローンの提供、被災企業に対するリース料支払猶予等にも誠実かつ適切に対応してまいります。

語句解説

※1 ベンダー:

当社のお取引先。リコーグループの販売会社、リコーの製品を扱う販売店、医療機器を扱う販売会社など、当社と一体となって営業活動を行う重要なパートナー。

※2 フィナンシャルサービス事業:

「リース・割賦事業」「金融サービス事業」より広義で、当社グループの提供するすべての商品・サービスの総称。

代表取締役
会長執行役員
吉田 勝美



中期経営計画

利益ある成長を続けるフィナンシャルサービス事業会社を目指し、企業価値の増大に努めてまいります。

当社グループは、2011年4月から新たな3か年の中期経営計画（以降「中計」と省略）をスタートさせました。

前中計では、「フィナンシャルサービス事業※2会社への転身」をビジョンに掲げ、従来型のリースのサービスにとどまらず、多様化・複合化するお客様のニーズにお応えし、より付加価値の高いサービスを提供することを目指しました。この取り組みをさらに進めるため、新中計では目指す姿として「利益ある成長を続けるフィナンシャルサービス事業会社」掲げ、これを実現するために5つ

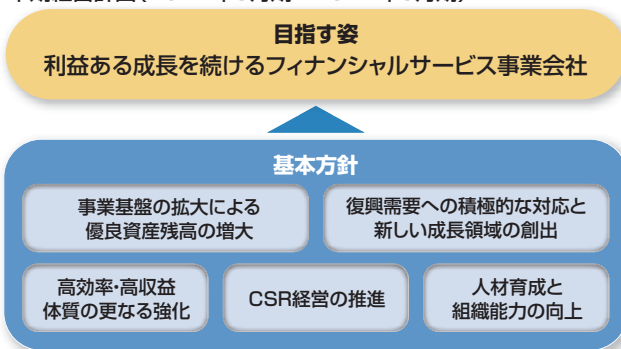
の基本方針のもとに個別の戦略を定めました。

まず、「事業基盤の拡大による優良資産残高の増大」により、リーマンショック以降の営業資産残高の減少に歯止めを掛けます。次に、「復興需要への積極的な対応と新しい成長領域の創出」として、事業を通じて復興に貢献するとともに、新たな需要創出に努めます。さらに「高効率・高収益体質の更なる強化」により盤石の企業基盤を築くとともに、「CSR経営の推進」「人材育成と組織能力の向上」によって、社会から信頼される企業として成長してまいります。



代表取締役
社長執行役員 CEO
有川 貞広

中期経営計画(2012年3月期～2014年3月期)



数値目標

	2011年3月期 (実績)	2014年3月期 (計画)	平均成長率
売上高(億円)	2,297	2,300	0.0
営業利益(億円)	122	140	4.6
当期純利益(億円)	70	80	4.4
売上高営業利益率(%)	5.3	6.1	—
ROA(%)	1.13	1.26	—

※ROAの語句解説は、P15をご参照ください。

リース・割賦事業

有力ベンダー、優良ユーザーとの関係を強化し
付加価値の高いサービスを提供

取締役 専務執行役員 営業本部長 島田 昇次



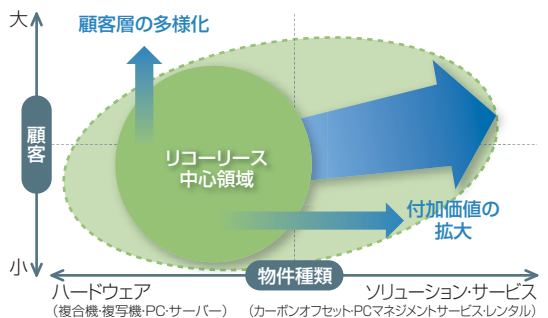
リース・割賦事業の売上高は2,244億円(前期比0.3%増)、セグメント利益は109億円(前期比3.8%増)となり、増収増益を達成しました。また、リース・割賦事業の取扱高は、事務用機器・情報関連機器が前期比1%と微増、医療機器は5%減少、産業工作機械は13%減少しましたが、商業用・サービス業用機器や車両・輸送用機器が伸び、全体では2,322億円(前期比2.4%増)と増加しました。

新中期経営計画では、事務用機器・情報関連機器分野において、顧客層を中堅・中小企業から大企業まで拡大し、より付加価値の高いサービスの提案活動を強化します。医療機器分野では、一般診療所から中規模病院までターゲットを広げるとともに、成長分野である介護・福祉などに事業領域を拡大します。

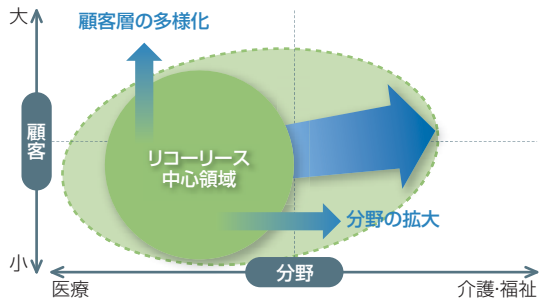
また、レンタルビジネスの拡大、新規分野の開拓も進めてまいります。

新中期経営計画における重点分野の営業戦略

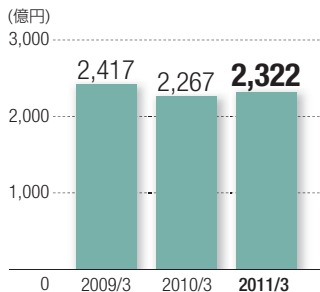
事務用機器・情報関連機器分野の営業戦略



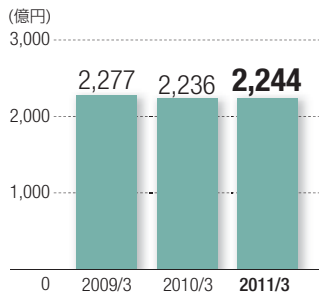
医療機器分野の営業戦略



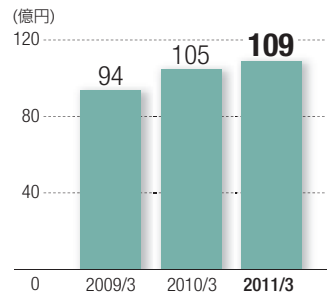
取扱高



売上高



セグメント利益



※セグメント情報とは、取扱高、売上高、利益その他の財務情報を区分単位(=セグメント)に分別したものをいいます。リコーリースには、リース・割賦事業と金融サービス事業の2つの事業セグメントがあります。

金融サービス事業

お客様の経営や業務効率を高める 独自の金融サービスを提供



取締役 専務執行役員 金融サービス事業部長 打込 愛一郎

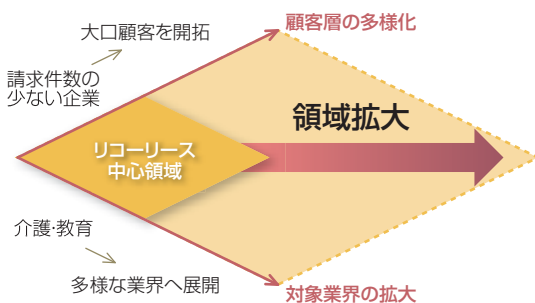
金融サービス事業の売上高は43億円(前期比6.7%増)、セグメント利益は19億円(前期比14.3%増)となり、増収増益を達成しました。集金代行サービスなどの受取手数料が順調に増加しました。また、住宅ローンの取扱高が堅調に推移し、融資の営業資産は744億円(前期末比8.3%増)となりました。

新中期経営計画では、手数料ビジネスのなかでも集金代行サービスに注力していきます。従来からの小規模顧客はWebマーケティングを強化して効率的な顧客獲得を図るとともに、請求件数の多い大口顧客については、専門の営業部隊を設けて成約に努めます。同時に、対象業界の拡大を図り、介護や教育などに続く業界を開拓していきます。また、集金代行サービス以外にも、新たな金融サービスの開発・展開を推し進めます。

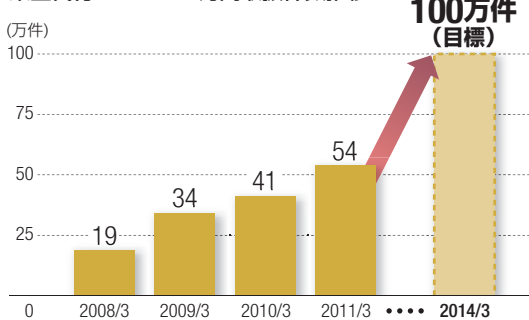
金融サービス事業の売上高・セグメント利益の増加により、収益基盤の安定化を図る方針です。

新中期経営計画における重点分野の営業戦略

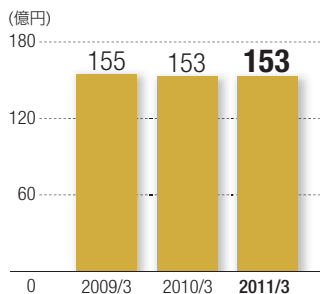
集金代行サービスの営業戦略



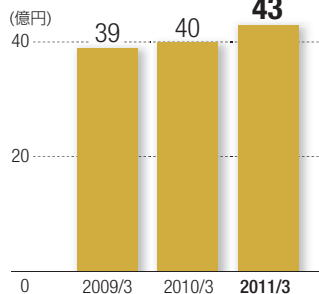
集金代行サービスの月間取扱件数推移



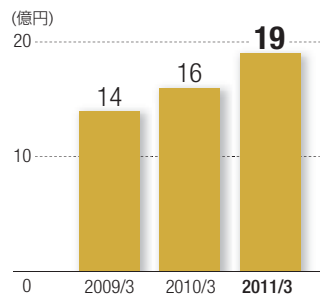
取扱高



売上高



セグメント利益



環境負荷削減の取り組みを支える カーボンオフセットリース

各企業ではCO₂(二酸化炭素)の排出削減が大きな課題となっています。こうしたなか、当社は「カーボンオフセットリース」の提案を進めています。

Profile

首都圏支社東京営業一課 直井 啓子
環境配慮型のリース商品を提案することで、お客様とともに低炭素社会の実現に貢献していきたいと考えています。



Q

カーボンオフセットリースって
どのようなものですか？

A

リース物件から
排出されるCO₂を相殺し、
**環境負荷低減を
可能にするリース**です。

カーボン(=CO₂)オフセット(=相殺)とは、企業や家庭からのCO₂排出を、「排出量取引」によって相殺するものです。排出量取引とは、国連が認めたCO₂削減プロジェクトへの資金提供を通じて、その成果を排出枠として取得する仕組みです。カーボンオフセットリースでは、リース期間中にリース物件から排出されるCO₂量をお客様の使用状況等に応じて算出し、相当する排出枠を付与することによって相殺します。



CO₂排出量はリース商品や契約内容によって異なるため、お客様ごとに算出します。

Q

このリースを活用して
どんなメリットがありますか？

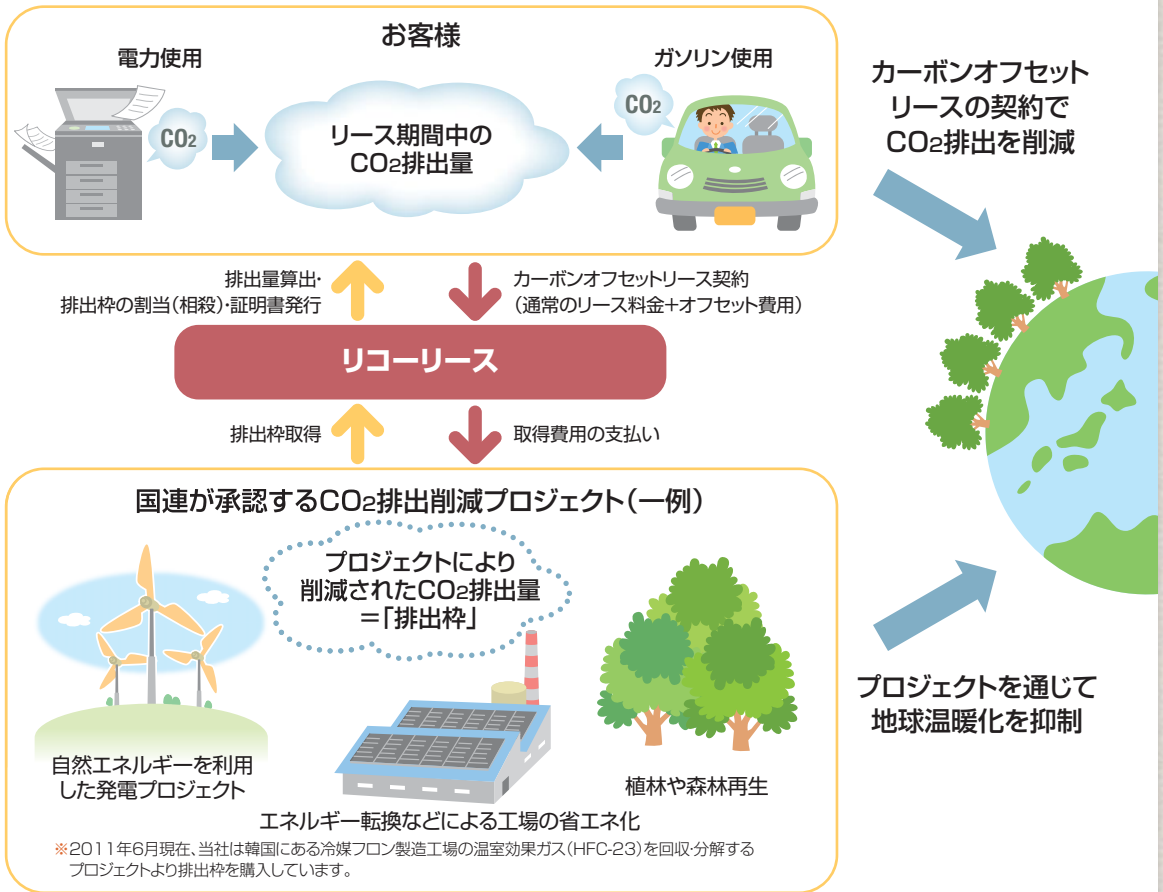
A

中小企業のお客様でも
**簡単な手続きで
地球温暖化の防止に
貢献**できます。

排出量取引は、まとまった規模で購入する必要があり、加えて煩雑な手続きを要することから、中小企業のお客様では実現が困難でした。カーボンオフセットリースでは、当社がまとめて購入した排出枠を、リース案件に応じて付与します。このため、お客様は手軽に、簡単な手続きで、CO₂排出を削減することができ、その証明書を掲示することで、環境貢献の姿勢をアピールできます。

また「今使っている自社の機器や他社リース機器もオフセットできないか」というお客様の声を元に、「カーボンオフセットサポート」というサービスも開始し、提案の幅を広げています。

カーボンオフセットリースの仕組み



Voice お客様の声

オフィスの環境負荷削減の新たな手法として採用しました。

当社は、環境に配慮した商品の企画・ご提案をしていることもあり、環境活動に力を入れています。カーボンオフセットリースをご紹介いただいたときは、一部の大手企業の取り組みと思っていたカーボンオフセットが、リース物件1つから少額で導入できるのが新鮮な驚きでした。そのため、管理部門でも取り組める新たな手法として採用させていただきました。オフィスのなかでも電力消費の大きいコピー機やサーバー、パソコンに適用できるので、今後は設置済の機器にも採用を検討していきたいと考えています。

オリエント商事株式会社 総合管理本部 システム部 部長 吉田 雅洋様



お客様の**集金業務の負担**を大幅に**削減**する **リコー集金代行サービス**

多くの企業にとって、大きな負担となっている集金業務。「リコー集金代行サービス」は、お客様となる企業の業務効率向上に役立つのはもちろん、お客様が提供するサービスのご利用者様の負担軽減にもつながります。

Profile

決済ソリューション営業部 **後藤 聡**
現在は介護業界を中心に活動しています。社会的な貢献度が高い業界だけに、大きなやりがいを感じています。



Q

**集金代行サービスって
どのようなものですか？**

A

金融機関や**コンビニ**との**ネットワーク**を活かして、**お客様の集金業務を代行するサービス**です。

「リコー集金代行サービス」は、当社提携の金融機関や郵便局、コンビニエンスストアとのネットワークを活かし、お客様の集金業務を代行するサービスです。公共料金などの引き落としと同様に、サービスご利用者様の預金口座から代行回収する「口座振替サービス」と、当社提携のコンビニエンスストアを窓口としてサービスご利用者様からの支払いを受け付ける「コンビニ収納サービス」の2つをご用意しています。



お客様の事業内容に適したサービスを素早く導入いただけるようサポートします。

Q

**このサービスの
メリットは何ですか？**

A

煩雑な集金業務を効率化できます。
少ない件数からでも**簡単に導入**いただけます。

お客様が金融機関などと独自に集金代行の仕組みを構築するためには、金融機関ごとに交渉や手続きが必要な上に、一定以上の件数が求められます。当社の集金代行サービスは、少ない件数からでも利用でき、また初期費用の負担がなく簡単に導入いただけます。このため、煩雑な集金業務を効率化できるサービスとして、中小企業のお客様をはじめ、幅広い業界のお客様にご利用いただいています。

集金代行サービスの導入事例

- 学習塾
- 牛乳販売店
- 不動産賃貸
- 同窓会
- OB会
- 各種スクール
- 宅配サービス
- 教員免許更新講習事務
- スポーツクラブ
- プロパンガス販売店
- 幼稚園・保育園
- 税理士・弁護士
- 各種組合(マンション管理組合等)
- 通信・インターネット関連 など
- 通信販売
- 介護サービス
- NPO団体
- OA機器販売
- 灯油販売業者

リコー集金代行サービスの仕組み ~介護業界で「口座振替サービス」を導入いただいた場合~



毎月の集金業務の手間を省きたい
 煩雑な現金管理から解放されたい!

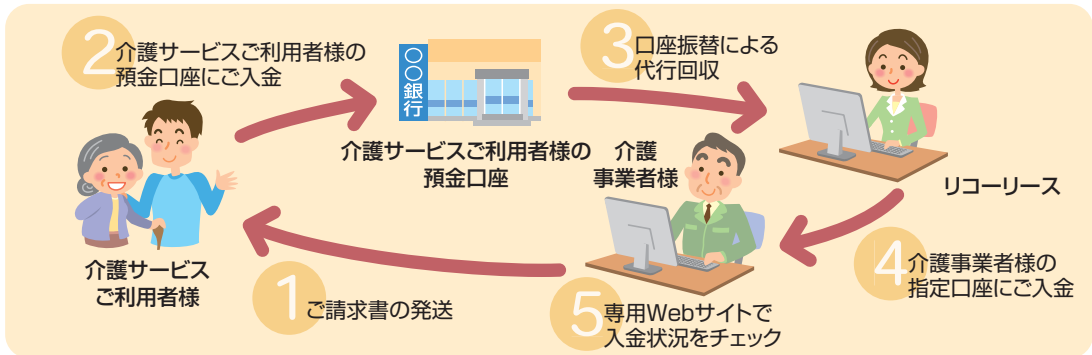
代わりに支払うのも手間がかかる...

毎月支払いに行くのが大変...

支払い忘れが心配...



集金代行サービスを導入すると...



皆様の負担が大幅に軽くなります



業務負担が軽減できました!

自動引き落としだから、支払い忘れの心配もなくなりました!

安心して介護サービスを利用できます!



Voice お客様の声

「便利で助かるわ」とご好評をいただいています。

当社は、『茶話本舗』の名前で地域密着型のデイサービスを提供しており、リコーリースさんの口座振替サービスと介護報酬ファクタリングサービスを利用しています。口座振替サービスでは、当社スタッフが直接集金する手間が省け、介護業務に専念できる環境がくれたことに大きなメリットを感じています。また、公共料金の引き落としのように使えるので、デイサービスのご利用者様ご家族様から「前に利用したところは集金だったけど、口座振替は便利で助かるわ」とご好評をいただいています。

株式会社未来日記 取締役/看護師 酒田 昇志様



リコーリース

CSRの取り組み

Vol.1

貴重な森林資源を守るために

第1回目は、紙の使用量削減の取り組みを中心に環境活動に関するさまざまなトピックスを紹介します。

審査業務で必要な書類をデータ化し、紙の使用量削減を進めています。

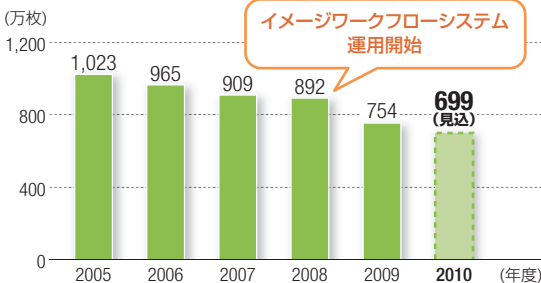
リース業務では、契約や審査(案件ごとにお取引可能かを判断すること)の過程で多くの紙を使用しており、森林資源を守る上でも、またコスト削減のためにも、紙使用量の削減が大きな課題となっています。

当社では、審査や契約に関する文書をデータ化する『イメージワークフローシステム』を構築。2009年2月より導入を進め、2010年10月には、全拠点で導入を完了しました。

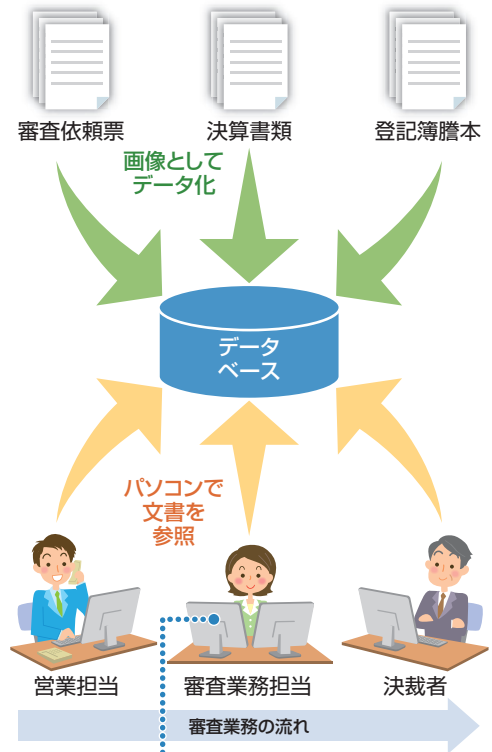
これは業務に必要とされる書類などをデータ化し、パソコンの管理画面上で取り出し、確認、保管できるシステムです。このシステムを導入したことで、営業から審査担当、決裁者までの間に紙の資料のやり取りがなくなり、審査スピードが向上するなど、業務効率が改善されただけでなく、紙の使用量の削減にもつながりました。

また、当社グループでは、リコーの複写機の機能を活用し、両面印刷や複数枚の用紙を1枚にまとめる集約印刷の利用を徹底し、社員一人ひとりが紙の使用量削減に努めています。

紙の使用量の推移



イメージワークフローシステムの仕組み



Point



2画面で業務を効率化

一方の画面で資料を見て、もう一方の画面で入力を行います。

CSR Topics 1

日経新聞社環境経営度調査で金融部門第3位に

新聞掲載 日本経済新聞(2011年1月30日付)

日本経済新聞社は、企業の環境対策を総合的に評価することを目的に、1997年から毎年環境経営度調査を実施しています。2010年9月に実施された第14回調査の結果、当社は金融部門58社中で第3位となりました。

CSR Topics 2

リコーグループ社員のエコ住宅改修を支援

新聞掲載 日本経済新聞(2010年12月19日付)

当社はリコーグループ社員一人ひとりの家庭から排出されるCO₂を削減するため、自宅を省エネ改修する社員を支援するローンを提供しています。また、ローン期間中のCO₂排出量に相当する排出枠を付与するカーボンオフセット[※]も実施しています。

CSR Topics 3

本冊子の作成にカーボンオフセットを導入

冊子類の作成にも、多くのエネルギーが消費されます。今回から本冊子の作成にあたり、原料、印刷、加工、流通、使用、廃棄にいたる全工程でのCO₂排出量を算出し、カーボンオフセット[※]の仕組みを利用して相殺しています。1部当たりのCO₂排出量を、水なし印刷のロゴマークに記載しています。

[※]カーボン(=CO₂)オフセット(=相殺)とは、企業や家庭からのCO₂排出を、排出量取引によって相殺するものです。



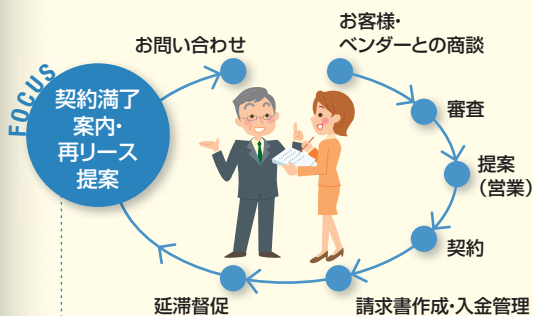
カーボンオフセット
マーク



排出量表示付き
水なし印刷の
ロゴマーク

Focus お客様を支える スタッフたち

契約手続きから契約満了まで、お客様に快適にリース物件を使用いただくために、さまざまな役割のスタッフが活躍しています。連載3回目の今回は、契約満了時の業務についてご紹介します。



満了確認

リース期間が満了したお客様に、リース物件の継続使用のご要望を確認するご案内をお送りし、お電話でフォロー。物件を継続使用されない場合は引取りの手配をし、着実に完了するよう確認します。

満了センター 鈴木 里美

お客様には長期にわたりリース物件をご利用いただいているので、物件の引取りなどの連絡の際には、感謝の気持ちをお伝えするよう心掛けています。



貸与資産管理

お客様からご返却いただいたリース物件を、中古品や資源として再活用できるよう選別していきます。やむを得ず再活用方法が見当たらない物件については、環境に配慮しつつ廃棄物として適切に処理します。

リマーケティングセンター 高木 亮輔

環境経営が問われるなか、お客様に「リコーグループとして環境対策に自信を持って対応している」とお答えできるような廃却処分を心掛けています。



過去フォーカスした業務の記事は
前回、前々回の「事業のご報告」(P9)でご覧いただけます。

リコーリース 事業報告書

検索

www.r-lease.co.jp/ir/ir/repo.html

会社情報・株主情報

会社概要 (2011年3月31日現在)

商号	リコーリース株式会社 (RICOH LEASING COMPANY, LTD.)
本社所在地	〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12
資本金	7,896百万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:8566)
従業員	894名(連結)
設立	1976年(昭和51年)12月
事業内容	リース・割賦事業 金融サービス事業
財務局ナンバー	関東財務局長(9)第00286号

役員 (2011年6月17日現在)

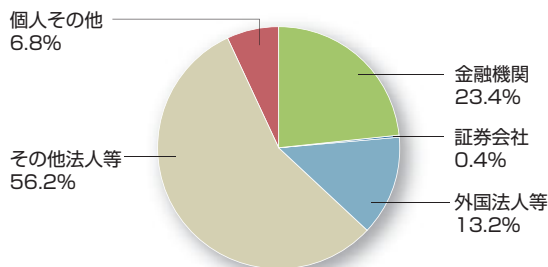
取締役	執行役員
代表取締役 吉田 勝美	会長執行役員 吉田 勝美
代表取締役 有川 貞広	社長執行役員 CEO 有川 貞広
取締役 打込 愛一郎	専務執行役員 打込 愛一郎
取締役 島田 昇次	専務執行役員 島田 昇次
取締役 長田 泰賢	常務執行役員 長田 泰賢
取締役 我妻 一紀	常務執行役員 清見 純子
	執行役員 吉川 淳
	執行役員 真鍋 求
常勤監査役 重山 荘平	執行役員 中嶋 祥行
社外監査役 皆川 邦仁	執行役員 武藤 裕文
社外監査役 大澤 洋	執行役員 梨木 隆志
社外監査役* 小林 貞五	執行役員 橋本 知明

*印を付した監査役は株式会社東京証券取引所の定める独立役員です

株式の状況 (2011年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	120,000,000 株
発行済株式の総数	31,243,223 株
株主数	10,518名(単元株主数 9,957名)

株式分布状況(所有者別) (2011年3月31日現在)



大株主上位10名 (2011年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
株式会社リコー	14,638	46.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,729	5.54
全国共済農業協同組合連合会	1,233	3.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,195	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	999	3.20
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	852	2.73
リコージャパン株式会社	763	2.44
三愛石油株式会社	569	1.82
コカ・コーラウエスト株式会社	502	1.61
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	379	1.21

営業拠点 (2011年3月31日現在)

北海道から沖縄まで、リコーリースは日本全国の地域をカバーしています。

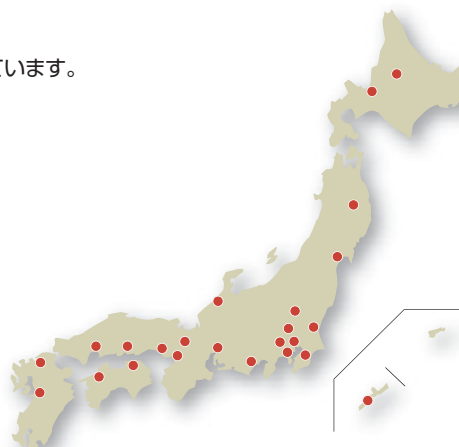
北海道	札幌/旭川
東北	仙台/盛岡
関東	東京(本社・テクノレント) 立川/横浜/千葉 さいたま/宇都宮/水戸
中部	名古屋/静岡/金沢
関西・四国	大阪/神戸/京都/高松/松山
中国	広島/岡山
九州	福岡/熊本/那覇

各営業拠点の住所と連絡先は、こちらをご覧ください。

リコーリース 事業所一覧

検索

www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html





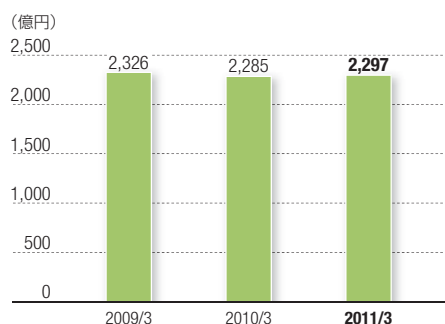
売上高

割賦売上高が大幅に増加し、
売上高が増加

前期比 **0.5%増**

売上高は、前期比11億円増加の2,297億円となりました。前期までのリース取扱高減少が響き、リース料収入は28億円減少しましたが、割賦売上高は33億円増加しました。また集金代行サービスの売上が順調に伸び、受取手数料が増加しました。

売上高の推移

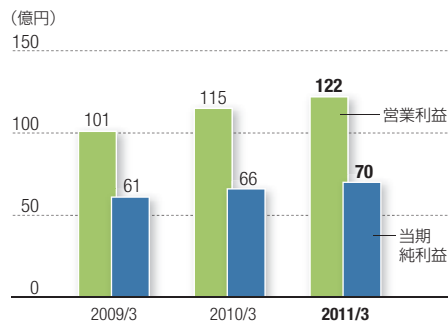


営業利益・当期純利益

東日本大震災に伴い、貸倒費用が
増加するも増益を確保

営業利益は、前期比7億円増加の122億円となりました。東日本大震災に伴い貸倒引当金を30億円繰り入れたことで貸倒費用が前期比3億円増加しましたが、再リースの増加や資金調達費用の減少等が寄与し増益を確保しました。当期純利益は、前期比3億円増加の70億円となりました。

営業利益／当期純利益の推移



連結損益計算書

(単位:億円)

科目	前期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
売上高	2,285	2,297
リース料収入	1,950	1,921
割賦売上高	104	137
営業貸付収益	20	19
受取手数料	24	27
その他の売上高	186	191
売上原価	2,005	1,997
リース料原価	1,714	1,676
割賦原価	94	126
資金原価	39	31
その他の売上原価	157	163
売上総利益	280	299
販売費及び一般管理費	164	176
営業利益	115	122
経常利益	113	121
税金等調整前当期純利益	113	121
当期純利益	66	70

連結包括利益計算書

(単位:億円)

科目	前期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
少数株主損益調整前 当期純利益	—	70
その他の包括利益	—	0
その他有価証券 評価差額金	—	0
包括利益	—	70
(内訳)		
親会社株主に係る 包括利益	—	70
少数株主に係る 包括利益	—	0

※億円未満の数値は切り捨て処理しており、各科目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。



流動資産・固定資産

リース債権及びリース投資資産の減少により流動資産が減少

流動資産は、前期末比71億円減少の6,035億円となりました。割賦債権、営業貸付金などが増加しましたが、リース債権及びリース投資資産が120億円減少したことが影響しました。また、金融市場の混乱に備え、一時的に現金及び預金を増加させました。固定資産は、前期末比2億円減少し135億円となりました。

営業資産残高

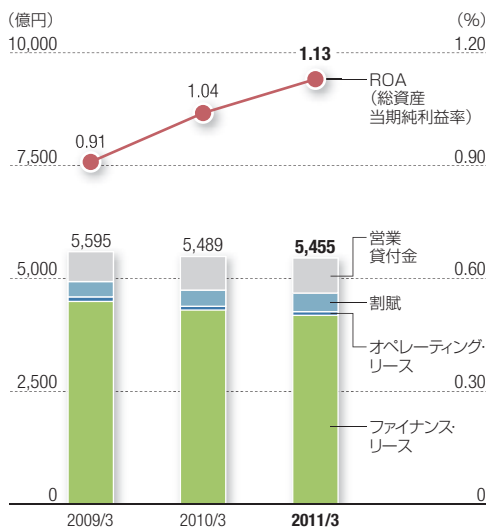
前期末と比較し営業資産の減少幅が縮小

前期末比 **0.6%減**

営業資産残高[※]は前期末比34億円減少の5,455億円となりました。リース・割賦事業の取扱高が前期比2.4%増加したことにより、営業資産の減少幅が前期末と比較し縮小しました。割賦は53億円、営業貸付金は32億円増加しました。

[※]営業資産残高と連結貸借対照表の割賦債権・リース債権及びリース投資資産・営業貸付金・賃貸資産の合計額が異なりますが、営業資産残高の割賦債権には未実現利益(利息相当分)が含まれないためです。

営業資産／ROAの推移



語句解説

ROA(総資産当期純利益率):

当期純利益÷総資産

当社が目指す高収益体質の重要指標と位置付けています。

連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	前期末 2010年3月31日	当期末 2011年3月31日
資産の部		
流動資産	6,107	6,035
現金及び預金	4	20
割賦債権	398	450
リース債権及びリース投資資産	4,301	4,180
営業貸付金	744	776
その他の営業貸付債権	151	173
その他	598	583
貸倒引当金	△91	△150
固定資産	137	135
賃貸資産	83	84
社用資産等	25	25
投資その他の資産	29	25
資産合計	6,245	6,171

負債の部

流動負債	3,282	3,194
支払手形及び買掛金	172	174
短期借入金・CP	1,539	1,466
1年内返済予定の長期借入金・社債	1,141	1,077
支払引受債務	252	273
その他	175	202
固定負債	2,002	1,957
長期借入金・社債	1,970	1,922
その他	32	35
負債合計	5,285	5,152

純資産の部

株主資本	957	1,015
その他の包括利益累計額	1	1
少数株主持分	1	2
純資産合計	960	1,018
負債純資産合計	6,245	6,171

[※]億円未満の数値は切り捨て処理しており、各科目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。

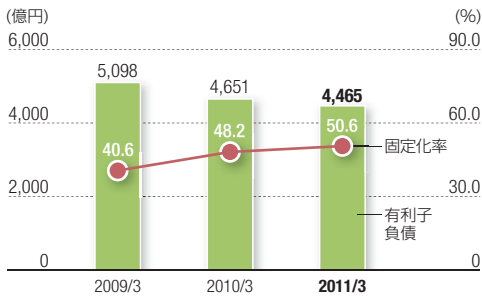
有利子負債

前期末比185億円の減少

前期末比 **4.0%減** 

有利子負債は前期末比185億円減少し4,465億円となりました。短期借入金・CPが73億円減少し、1年内返済予定の長期借入金・社債が64億円減少しました。有利子負債の減少や金利の低下により資金調達費用の減少が続いています。

有利子負債／固定化率の推移



語句解説

固定化率:

固定金利負債÷有利子負債合計

固定金利(金利情勢に応じて金利が変動しない)負債比率の略。

自己資本比率

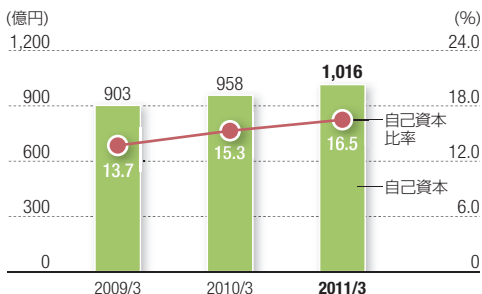
前期末比1.2ポイント上昇

16.5%

自己資本は前期末比58億円増加し1,016億円となりました。自己資本比率は前期末の15.3%から16.5%に上昇しました。今後も健全な財務体質を保つために自己資本の増強に努めてまいります。

※自己資本比率算出上の自己資本の額は、純資産合計から少数株主持分を引いた額になります。

自己資本／自己資本比率の推移



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	前期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	288	222
投資活動による キャッシュ・フロー	△2	△7
財務活動による キャッシュ・フロー	△460	△198
現金及び現金同等物の 増減額	△173	15
現金及び現金同等物の 期首残高	178	4
現金及び現金同等物の 期末残高	4	20

※億円未満の数値は切り捨て処理しており、各科目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期比66億円減少し、222億円の収入となりました。リース・割賦事業の取扱高が前期に比べて増加し、リース債権及びリース投資資産の減少額が前期と比較して縮小したことが主な要因です。財務活動は、社債やCPの償還、配当支払いなどで198億円の支出となりました。

次期の見通し

(単位:億円)

科目	当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日	次期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
売上高	2,297	2,251
営業利益	122	135
経常利益	121	133
当期純利益	70	76
1株当たり当期純利益	224.92円	243.46円

次期の見通し

過去の取扱高減少に伴う営業資産残高の減少により、売上高は2.0%減少を予想しておりますが、新たな中期経営計画のもと、取引ベンダーへの価値提供強化、優良ユーザーへの接点営業強化、金融サービス事業の拡大など、利益ある成長に向けた施策を着実に推進します。

株主の皆様からの声

皆様の声をIR活動の充実に活かしてまいります。

株主の皆様のご協力により前回(2011年3月期第2四半期事業のご報告)実施のアンケートで20回目を迎えることができました。あらためて感謝申し上げるとともに、これからもなお一層株主の皆様のご意見を活かしたIR活動に取り組んでまいります。

Q リコーリースが提供するサービスについて、わかりやすく教えてほしい。

当社グループでは、お客様の多様なニーズにお応えする商品・サービスを提供しています。具体的なサービスについて理解を深めていただくために、「リコーリースの法則」をインターネットで公開しています。動画を使って、わかりやすく解説していますので、ぜひご覧ください。

「リコーリースの法則」は、こちらをご覧ください。

www.r-lease.co.jp/housoku/

リコーリースの法則



Q 事業になじみがないので、株主Q&Aなどのコーナーがあると助かります。

当社グループでは、アンケートなどで株主の皆様から寄せられたご質問に対して、「事業のご報告」で随時取り上げてご説明しています。また、過去に取り上げた回答の内容をホームページ上で公開しています。ぜひ、ご活用ください。

過去の「事業のご報告」で取り上げた株主様からのご質問と回答内容は、こちらをご覧ください。

www.r-lease.co.jp/ir/faq/

ご意見をいただき改善した点

- 新規事業や新たな取り組みについて、毎回知りたいと思っています。

当社の新しい取り組みとして「カーボンオフセットリース」をご紹介します。…… **P7~8**

- 社会貢献や環境への配慮をもっと大きく取り上げては？

「リコーリース CSRの取り組み」のコーナーを設けました。

今後、さまざまな取り組みを連載形式で掲載する予定です。…… **P11~12**

- 社員の活躍をもっと掲載してほしい。

連載中の「Focus お客様を支えるスタッフたち」に加え、

「最前線レポート」として、若手社員がリコーリースの「今」をレポートする企画を設けました。…… **P7~10, 12**

アンケートの集計結果や株主の皆様から寄せられたさまざまなご意見・ご感想をご覧ください。

www.r-lease.co.jp/ir/individual/enquete.html

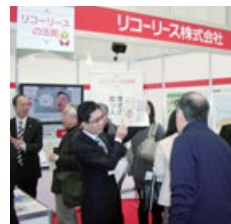
IRサイトが受賞

日興アイ・アール株式会社主催の「2010年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、当社IRサイトが、その他金融業部門で第2位にランキングされました。また、大和インベスター・リレーションズ株式会社主催の「2010年インターネットIR・ベスト企業賞」では、優良企業賞を受賞しました。



大阪でIRフォーラムに出展

当社は2011年2月に大阪国際会議場で開催された「IRフォーラム2011大阪」に出展。ブース展示に加えて、役員によるIRセミナーを実施しました。



当社ブースの様子

社会貢献型株主優待「緑の募金」に寄付

当社では、お送りした株主優待品のご利用額に基づき算定した金額を「緑の募金」に寄付しており、2010年8月には119万円を寄付しました。

※当社の社会貢献型株主優待の仕組みは下図をご参照ください。



(社)国土緑化推進機構
副理事長 谷副丸氏(右)
当社 代表取締役
会長執行役員 吉田勝美(左)

定時株主総会後に株主懇談会を開催

株主の皆様とのコミュニケーションの場として、株主総会後に株主懇談会を開催。パネル展示や役員・社員との対話により、当社の事業をご説明しております。



昨年(第34回)の株主懇談会の様子

株主優待のお知らせ

優待品を利用されることで、株主の皆様も社会貢献活動にご参加いただけます。

対象 3月末の株主名簿に記載された
100株以上の株主様

優待品 クオ・カードを保有継続期間に応じて進呈します。

保有継続期間

1年未満 3,000円相当

1年以上 4,000円相当

3年以上 5,000円相当

※保有継続期間の認定は3月末を基準とし、保有確認は9月末と3月末の年2回行います。



クオ・カード

株主の皆様が
クオ・カードで買物を
していただくと…



クオカードは商品券として
全国約43,000店舗で
ご利用いただけます。

ご利用額に基づき算定した
金額をリコーリースの負担
で「緑の募金」へ寄付します。



寄付金は、国内外の緑化活動や
森づくりに携わる人材の育成
などに活かされています。

株主優待制度の一部変更のお知らせ

変更点

変更前

クオ・カードと図書カードの
いずれかを選択

変更後

クオ・カード

適用時期: 2011年3月末日の株主様より

発送時期: 7月中旬から6月下旬(株主総会終了後)に変更

その他: 保有継続期間による優遇制度は継続いたします。

変更理由

株主の皆様からのご要望にお応えし、優待品の到着時期を早期化するため、左記に変更いたしました。

なお、この度の変更による事務管理費用の減少分に乗せし、東日本大震災被災地への義援金として、日本赤十字社へ500万円を寄付いたします。

株主優待についての詳細は、こちらをご覧ください。

リコーリース 株主優待

検索

www.r-lease.co.jp/ir/yutai/

表紙写真について

「ダリア」

花びらの先に雫を蓄えてはポトリ、また丸く

膨らんでポトリ…。

小雨の降る中、花はしっとりと潤います。

～リコーフォトグラフアーツギャラリーより～

撮影場所：東京

撮影機種：Caplio R4

撮影者：吉住志穂(写真家)

リコーフォトスタイル

検索

www.ricoh.co.jp/dc/photostyle/

フォトコンテストのご紹介

株式会社リコーでは、リコー製デジタルカメラで撮影した皆様の作品の各種フォトコンテストを開催したり、ユーザーレポートを募集しています。

応募要項や受賞作品、フォトグラフアーツギャラリーの作品は、下記リコーのホームページでご覧いただけます。

リコーデジタルカメラのご紹介

GR DIGITAL III

「GR DIGITAL III」は、「GR DIGITAL」、「GR DIGITAL II」で追求したコンセプトを継承し、新開発の「GR レンズ 28mmF1.9」、新画像エンジン、新CCDの採用により伝統の高画質を進化させ、さらに、速写性、表現力、操作性を高めた製品です。

本冊子は、環境や読者の利便性に配慮した制作を心掛けています。



水なし印刷・CO₂排出量表示

廃液が有害物質等を含む現像液や湿し水を使用しない、環境にやさしい印刷方式「水なし印刷」を採用しています。また、製造・流通に要したCO₂排出量は1部あたり何グラムかを表示しています。



VOCフリーンク

石油系溶剤を植物油成分に100%置き換えた「VOC成分ゼロ型インキ」を使用しています。



カーボンオフセット

冊子を制作した際に排出したCO₂ 2,498kgは、一般社団法人日本カーボンオフセットを通じてオフセット(相殺)され、地球温暖化防止に貢献します。



古紙パルプ配合率100%再生紙

この印刷物は、古紙パルプ配合率100%の印刷用紙を使用しています。古紙パルプ配合率の検証は日本製紙連合会の定める検証制度に準拠し、品質保証書が発行されています。



カラーユニバーサルデザイン

色覚の個人差を問わず、多くの方に情報がきちんと伝わるよう配慮されたカラーユニバーサルデザインの認証を取得しています。

糊付製本

冊子のページを綴じるのに針金を使用せず糊付で製本しています。不要になった際に、針金と紙を分別せずに資源として回収・リサイクルすることができます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載する。 http://www.r-lease.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8566

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	
電話照会先	☎0120-176-417
住友信託銀行ホームページ	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

ご案内 | 株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

リコーリース株式会社

〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12

お問合せ先:経営企画室 TEL: 03-6204-0608 E-mail: ir@rle.ricoh.co.jp

<http://www.r-lease.co.jp/>